

オ ス メ



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

ぐた〜

「あー…楓さん酔っついてこんな無防備なのか…」
「みみっく酔っついてませんよ」

「やっへムラムラしてきた…美波、抜いてくんね？」

おはっ

「ちよつとPさん！楓さん居るのだ…」
「ちよつとこのままだと楓さん襲っちゃうので」

おはっ



「仕方ないですね…Pさん本当に襲うから…」

「きゃっ！？」

「お二人で楽しそうですね、私は仲間はずれですがそうですか」
「いやいや、楓さんともするつもりだったんですよー！あーやりてー！」

「もー、仕方ないですねー、ふふっ！」

「ちよつとPさんー楓さんに手出したらホントにまずいですよー」

「いや、美波とのどろがバレても終わらだし、楽しんだもん勝ちだ」



「じゃあ、まずはフェラから頼むわ」
「もう…知りませんからね!」
「ふふっ、いただきます」

「あ…二人だとスゲエわ…」
「Pさんこそ弱いんですよね、美波いきます!」
「ん…味が濃くて…柔らかくて面白いですね」

「くっ!出るぞ!しっぴかり顔で受け取めろよ!」
「あんっ♪今日もいっぱい出ますね」
「ふう…じゃあ楓さん、こっち座って脚開いてもらえますか?」

「ああー!」気に…んんっ!
「おおっ! 楓さんの膧スゲェ!

「こんなぞ! 奥にグリグリあたって…っ!」
「あー、出そっ! 中でいいですよね!

「あっ! はあああっ!」



「はあ…ん…すう…」
「寝ちゃったよ、すごいなこの人…」

「あの…Pさん、私も…」
「もちろん！最初は美波とするつもりだったしな！」

「んうっ！やっぱりPさんのが一番すごいっ！」
「ん？俺が初めてだったし、ほかのチンコは知らないんじゃない？」
「そ、その…Pさんのことをパパに話したら押し倒されて…」
「マジか…」

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ





「じゃあしつかり孕ませて俺のモノですって挨拶行かないとなー！」
「ひああああ！はいいつ！種付けしてください！」

「そのPも一回」



「美波ちゃん、昨日はありがとう。覚えてないけど…」
「楓さん、酔うのはいいですけど一人で帰りましようね」
「ああ、なにかあったら大変だしな」



「おはようございます…ううん…」
「あ、楓さん、おはようございます。大丈夫ですか？」

「疲れたにやあ…」
 「うん、お風呂入って寝よう…」
 「もう大浴場は終わってるからシャワーで我慢するにや」

「りーなから入っていいよ…」
 「あ…でもみくふらふらじゃん、先入んなよ」
 「なに遠慮してるにや…それとも一緒に入るの？」

「…え」
 「…まあ、いいよ」

うん

Rock
 LIND



「…わかってたけど狭すぎにゃ!」
 「うっ…た、確かに…でも二人同時に入ったほうが早そうじゃない?」
 「絶対別々のが早かったにゃ!」

「ちよ?…うわっ!なんで私の体洗うの!?!」
 「こんな狭いと自分の体も洗えないし…仕方なくにゃ」
 「ひいっ!?!」

「ほらほら、次はりーなが洗って」
 「あ、…うん」(背中…綺麗だなあ)
 「はあ…他人に洗ってもらうのも気持ちいいにゃあ…」





「前…洗うね」
 「いや!？ま、待つ!そつち向くから!」
 「いいよ、このままで…」

「…汗の味する、ちゃんと洗わないと」
 「んっ!あ、洗ってない…ひゃっ!」

わっ

「やあ!んっ!りーな…っ!」
 「んっ、はあ…みく…」

わっ

わっ

わっ

わっ

わっ

わっ

「あぁあぁー！んあぁあぁあぁあぁあぁあぁー！」

「あ…すい…気持ちよすぎる…」

「はあ…はあ…いきなり何するの…解散だにあ…」
「ごめん…なんか体触ってたら…その…」

「責任…責任…」
「責任…責任…」

42

アアアア





「気持ちの責任、体で払ってもらおうにや」
 「やつ！んんっ！気持ちって…ひっ！」

「ふあああっ！みくっ！私っ！」
 「ふはあ…りーなの味にや…」

「そこっ！舐めちゃ…んくっ！」
 「みくだっ…ん…りーなの味…」

「…りーな、明日帰っちゃうの？」
 「うん…一週間って約束だったし、
 親に心配かけちゃうから」
 「そっか…」

「寂しいけど…ユニットですつと一緒にいられるから大丈夫、かな」
 「りーな…全然似合わないにや…」
 「う…知ってるよ…ロックじゃないし…でも…」

「好きって気持ちは…ロックだと思う」
 「なにそれ…でも、みくも嫌じゃないにや…」

「ん…つて！なんで体まさぐってくるにや！」
 「え！？だ、だめだった？」
 「さっきまであんなに…っ！」



「どうしてわたくしがアニメに出なかつたのか…説明してくださいさる？」
 「は、はひっ！？ごめんなさい！粘つたんですが…っ！」
 「PVにもキービジュアルにも居ましたのに」

「ウフ、Pちやまは悪くありませんわ、
 まだと判断されただけのこと」
 「ん…はい…構成が…あ…」
 「でも…ガチャの時に
 声が付かなかつたのは本当に残念ですわ…」



「うくっ！んっ！んっ！」
 「ウフ、必死で吸い付いて来て…
 かわいいですわよ、Pちやま♪」

「あつー出るっー出ちゃいますーううっー！」
 「こんなにピュッピュッするほど溜めてましたの？」
 「あ、アニメ見るのだから仕方なくて……」

「では次はわたくしも気持ちよくしてくださいな……」

「はひ……がんばります……」
 「あの、プロデューサー？」
 「どうして私がアニメに出なかつたのか聞いてるんです」
 「はっ！？あ、あります……いや、すまんちよつととんでた……」

「人が話してる時はちゃんと聞いてください」
 「ふあ……Pさんの精液お腹に入ってくる……あつたかい……」



「ボイスオードイション頑張りましたよね？1位ですよ。せっかく声付いたのに……」
「あっ！Pさんのまたおっきくなって……」
「うおっ……こめんよ……でも俺も頑張ったんだ……」

「大人なのにそんな言い訳するんですか」
「大人だから言い訳するんだよ、おおっ！？」
「……夏からの2期は期待していいんですか？」

「ああ！もちろんっ！ぐっ！出すぞっ！」
「っ！……そうですか、よろしくお願いします」
「へんっ！また出て……っ！」
「わ、私もいつ！んうっ！っ！」



あとがき、

初めましての方は初めまして、それ以外の方は毎度どうも、しおこんぶです。

楓さん選挙3位おめでとうってことで、まあアニメの楓さんが可愛すぎてコミ1はいつもとは趣向を変えて楓さんとラブラブな甘い感じのやってみようって話だったんですがいろいろあってラブ本になりました。精神と時の部屋で作業したいです。そのネタは夏コミ受ければ出そうかなーとも考えてますが、どうなるかは未定です。

とりあえずモバマスアニメ2期楽しみに待ってます。

奥付

誌名:ヤラズノアメ

発行:LAMINARIA

メール:laminaria@siokonbu.com

URL:<http://siokonbu.com>

twitter:@uni_sio

発行日:2015/05/02

印刷所:ねこのしっぽ様

作画:しおこんぶ

pixiv:920720

原作:ウニ

pixiv:603466

フェス2回連続2枚取りはやっちゃった感がある、次もします。



LAMINARIA

LAMPARA PRESENTS